

令和5年度事業計画書について

令和2年度以来、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言の発動などにより、イベントの中止や縮小を余儀なくされてきた。こうした中、制限の解除はなされたものの、令和5年度についても、引き続きコロナ禍での対応を適切に行い、社会情勢を踏まえながら事業を実施する。

1. 目 的

観光地としての高尾山の魅力を未来へ継承するという、高尾山応援基金の目的を具現化するための事業として、これまで高尾山応援基金運営協議会で検討してきた、活動支援事業・課題解決事業・参加型事業の3つを柱として事業を実施する。

2. 事 業

(1) 活動支援事業

高尾山の魅力を高める活動を行う団体に対して、活動費の助成を行う。活動を支援することを通じて、高尾山の魅力を高め、さらに活性化させるとともに、次世代につながる担い手となる活動団体を育成する。

予 算 額 団体3件 10万円

(2) 課題解決事業

高尾山の魅力を高めるために課題解決を行うための事業を実施する。アンケート・聞き取り調査を踏まえて、安全かつ安心して、高尾山を楽しむために必要な情報の発信などを行う。

① 情報発信事業

ア. 高尾山ポケットマップを活用した情報発信

事業内容 令和4年度に作成したマップを利用し情報発信を行う。提供する情報の中で「ごみの持ち帰り」をはじめとした高尾山ルールの周知等を行う。

イ. むささびハウス設置のデジタルサイネージを活用して高尾山応援基金のPRや高尾山に関する情報発信を行う。

② ごみ袋活用事業

事業内容 令和元年度に製作したごみ袋を高尾山で行われる清掃活動のボランティアに対し提供する。

③ 安全・安心支援事業

事業内容	警察署が主体となり実施している登山者の安全確保に関する支援を行い、安全、かつ安心して高尾山の魅力を体感して頂く。
予算額	5万円

(3) 参加型事業

高尾山の魅力を多くの人たちに伝えることを通じて、さらに高尾山の魅力を高める活動に関わる担い手の創出を目的としたポスターコンクールを開催する。

事業内容	市内の小学校・中学校及び市内在住の小学生・中学生対象にポスターコンクールを実施し、高尾山の魅力を作品にしてもらおう。
実施時期	夏休み期間
展示会場	高尾 599 ミュージアム、イーアス高尾などを予定
予算額	15万円

3. PR・募金活動

(1) 普及・募金活動

- ① 山の日
- ② もみじまつり

(2) 常設募金箱設置

- ① 高尾 599 ミュージアム
- ② ケーブルカー清滝駅
- ③ むささびハウス

(3) 寄付つき商品事業

商品購入額の一部が高尾山応援基金に募金される寄付つき商品は、現在、高尾 599 ミュージアムで販売されているデザイン手拭い・ステッカー各 3 種及びレジ袋であるが、商品の種類と参加団体を増やし、充実をはかる。

- ① 高尾 599 ミュージアム
デザイン手拭い・ステッカー各 3 種及びレジ袋

4. その他

(1) 事務局運営費

事務局運営費として、10 万円を計上する。

(2) ホームページ経費

基金に関する情報発信を目的に平成 30 年度にHPを開設しており、ホームページの経常経費として 1 万円を計上する。